

1907  
12/11

後ヲ依頼シ同署長ヨリ會社側ニ解雇職工トノ會見方ヲ  
通シタル結果午後二時ヨリ西者ノ會見ヲ見ル事トナレリ  
解雇職工側ハ井島林太郎外三名會社側永井作業課長兼  
工場係主任ノ二名ニテ午後三時ヨリ工場事務所ノ一部  
ニテ會見シ解雇者側ヨリ誠首ノ理由ナシトテ復職方ヲ  
申出シタルニ會社側之ヲ拒絶セル爲メ當分ノ失致ノ保  
証ヲ得タシトテ各日給ノ四ヶ月分ヲ要求セリ會社側ハ  
曩ニ申渡シタル日給十四日分ノ外同情金トシテ各十四  
宛支給スルコトニ決定シ居ルニ尚ホ事情ノ同情スベキ  
ニアリトナシ別室ニテ重役協議ノ上同情金十四日分  
勞金ト言フ名義ニテ三十日ニ増額スルコトヲ以テ之交  
渉シタルニ解雇者承諾セズ翌十九日午後一時再會ヲ約  
シ午後五時辞去セリ

斯クテ昨十九日午後一時豫約ノ如ク被解雇職工井島林  
太郎外二名ハ本部署理事長佐々木節ト共ニ工場ニ出頭前  
日合議永井業務課長兼工場係主任ト會見シ(佐々木別室  
ニテ待合ス)前日ノ主張解雇手当四ヶ月分ヲ二ヶ月分ニ  
讓歩シテ要求セルハ會社ハ飽追前日ノ主張ヲ曲カサリ  
之爲メ止ムナク佐々木ニ打合セ、上會社側ノ案ヲ承諾  
スルコトニ決シ即日手当ノ受授ヲ終リ解決ヲ告ケタリ  
而シテ一般職工ノ作業状態ヲ見ルニ十六日中途退場セ  
ル第一、第二製線工場又十八日ハ平日ノ如ク出勤作業  
ニ従事シ工場内部ハ全ク平穩ニ候シタルニ依リ會社ハ  
此上解雇ヲ爲サズ職工ノ不平ニ對シテハ充分研究ノ上  
改善ヲ加フルト共ニ之ヲ監督ニハ一層周密ヲ加ヘ勞働  
組合ノ勢力ヲ一掃スル方針ナリト言フ。